

「住んでみたい」、「住んでよかった」 「いつまでも住み続けたい」と 心から思えるような 「ふるさと会津」の創造



会津若松市は、北会津村、河東町との合併をふまえ、新市として新たな枠組みで、長期的かつ総合的なビジョンのもとに一体的なまちづくりを推進するため、新たな長期総合計画「新都会津 未来創造」を策定しました。この冊子はその概要版です。



会津若松市長

菅原 一郎

はじめに

北会津村及び河東町と合併した本市は、新市としての早期の一体化を図り、より一層の魅力の向上に努め、会津地方の中核都市として地域をけん引していくことが求められています。

また、近年の地方自治体を取り巻く状況は、少子高齢化の進行や人口減少時代の到来、深刻化する環境問題、安全・安心への関心の高まり、さらには地方分権の進展など、めまぐるしく変化しており、これに伴い、ますます複雑化、多様化、高度化する様々な課題に対して柔軟かつ迅速に対応していかなければなりません。

このような中、合併時に策定したそれぞれの新市建設計画の内容を尊重し、新市としての新たな枠組みのもとで長期的かつ総合的なビジョンのもとに一体的なまちづくりを進めていくための指針として、平成19年度から平成28年度までの10年間を展望した新たな長期総合計画「新都会津 未来創造」を策定いたしました。

今後は、この計画に基づき、市民と行政がともに知恵を出し合い、手を携えて取り組む、協働によるまちづくりを基本として、本市の美しく豊かな自然、多くの先人によって培われてきた歴史・伝統・文化など、誇るべき地域の資源や特性をいかしながら、元気で力強く自立したまちを築いてまいります。

そして、市民の皆さまや本市を訪れる方々が、「住んでみたい」、「住んでよかった」、「いつまでも住み続けたい」と心から思えるような、「ふるさと会津」の創造に向け、全力で取り組んでまいりますので、引き続き、ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、本計画の策定にあたり、貴重なご意見をいただきました総合計画審議会の委員の皆さまをはじめ、北会津・河東両地域審議会の委員の皆さま、さらにはアンケートやワークショップ、懇談会などを通して、数々のご意見をいただきました多くの市民の方々に対しまして、心より感謝申し上げます。

CONTENTS

■計画の体系	2・3
■序論	
計画の枠組み	4
計画策定の背景	4
■基本構想	
まちづくりのコンセプト	5
人口の推移	5
■基本計画	
重点的に取り組むべき政策	6・7
まちづくりの基本政策	
「福祉健康」	8・9
「教育文化」	10・11
「産業経済」	12・13
「生活環境」	14・15
「都市基盤」	16・17
「協働参画」	18・19
■地域別将来展望	
地域づくりの基本的な考え方	20
地域区分	20・21
A. 鶴ヶ城・中心市街地周辺地域	22
B. 西若松駅周辺地域	23
C. 会津若松インターチェンジ周辺地域	24
D. 会津総合運動公園周辺地域	25
E. 東山温泉・飯盛街道周辺地域	26
F. 会津大学周辺地域	27
G. 芦ノ牧温泉・大川周辺地域	28
H. 猪苗代湖周辺地域	29
I. 北会津地域	30
J. 河東地域	31
■計画の推進に向けて	32